

1

教室(下校時刻・放課後)

帰るクラスメイトの中、主人公は落ち込んで席を立てない。

友達A「…帰らないの?」

主人公「うん、先帰ってて」

友達B「そっか、じゃあね」

× × ×

誰もいなくなった教室。

主人公は赤点の答案用紙を広げ、ため息をつく。

すると頬に冷たい飲み物を当てられる。

主人公「(驚いて) うわっ!」

振り向くと、飲み物を持った友達A Bが笑っている。

友達A B、二人の答案を見せる。

赤点である。

主人公「(答案を指して) あーっ!」

笑い合う三人。

主人公はいつもの笑顔に戻ったのだった。

〈終〉